


# 在宅緩和ケアへ移行した症例の検討に関するお知らせ

この研究は緩和ケアの成果、ケアの質の向上を検討し、看護介入の妥当性や必要性を評価することを目的としています。人生最終段階にある患者と家族に対する意思決定支援に関しては、ガイドラインもあり

適切な情報の提供と説明、医療・ケアチームが話し合いを行い意思決定支援を行うプロセス、症状を緩和し全人的なケアをすることの必要性、そのための看護職の介入と看護実践の有効性はすでに明らかにされていますが、今回は当院での介入内容から、看護実践の内容を明らかにしたいと考えます。研究の成果は、意思決定支援にかかる看護・医療の質を向上させる一助となり多くの患者さんのQOL(生活の質)向上に貢献できる可能性が高いと考えます。この結果を、当院の緩和ケアの質の向上に役立てていきたいと思っています。

## 【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院に於いて、2018年4月から2020年3月の間のがん相談窓口に来られた患者さん、及びご家族の意思決定支援を行った方を対象としています。事例ごとに内容を振り返り、データとして相談者の性別、年齢、病期、治療期間などを数値化し検討します。通常の診療の範囲内で得られた情報を研究対象とするので、患者さんに日常診療以外の負担  
 はありません。

**対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。**

## 【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐために、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧できないようにしております。また、本研究の公表(学会や論文等)の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません

## 【利益相反について】

この研究を行うにあたり、特定の企業の支援を受けたり、費用が発生することはありません。



### 【連絡・問い合わせ先】

小倉記念病院 クオリティ・マネジメント科  
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野 3-2-1

担当者 餘永 真奈美  
Tel.093-511.2000(代)